



ひかりが丘地域

高齢化が進んでいる地域です。



人口 11,236人



6歳未満児数(率) 468人(4.2%)



世帯数 5,048世帯



高齢者数(率) 2,733人(24.3%)



出生数 63人

ひかりが丘地域ケアプラザ地域

懇談会開催日

- 第1回目 平成17年 7月12日
- 第2回目 平成17年 8月 9日
- 第3回目 平成17年 8月26日
- 第4回目 平成17年10月 8日



支えあい連絡会開催日

- 第1回目 平成17年11月 8日
- 第2回目 平成17年12月13日

地域の主な福祉保健活動

- ◆ 子育て支援・親子交流事業(しゃべり場)
- ◆ 有償地域ケアシステム(ひかりサポート)
- ◆ ひかり福祉フェスタ

様々な取り組みや活動の中から、子育て支援、高齢者・障害者支援、世代間交流の3つの視点で主な活動を掲載しています。



当面取り組む地域の課題

- 交流の機会・場をつくろう
- 地域のリーダーを育てよう
- 交流を深めるおつきあいを進めよう

地域懇談会で、これらの課題から取り組むことが話し合われました。

地域での具体的な取り組み

取り組みの目標・テーマ

活発な交流が地域を支えるまち

取り組みを進めるにあたっての大切にしたい点

近年、日常のつきあいが希薄になり、近隣の人と顔を合わせる機会もなくなっています。その結果、同じ地域に住んでいながらコミュニケーションが疎遠になっています。これからの少子高齢社会に向けて、あらゆる機会を捉えて交流を図っていく必要があります。そのためには、交流を進めていく地域のリーダー的存在が重要であり、人材の発掘、育成が必要です。

具体的な取り組み

こどもフェスティバル、スポーツ祭り、地域祭りなど、今ある活動の運営に小中学生に参加してもらったり、地域の人たちに子どもが日頃取り組んでいる姿を見てもらう機会をつくる。将来的には子ども活動班を設置することを目標とする。

懇談会参加者

連合自治会関係者

保健活動推進員

障害者施設関係者

幼稚園・保育園関係者

中学生

地区社会福祉協議会関係者

ボランティアグループ

障害者団体関係者

老人会関係者

小・中学校校長

民生委員・児童委員

高齢者福祉施設関係者

NPO関係者

企業関係者

目標 テーマ

活発な交流が地域を支えるまち

大切にしたい点

様々な交流を活発にする

近年、日常のつきあいが希薄になり、近隣の人と顔を合わせる機会もなくなっています。その結果、同じ地域に住んでいながらコミュニケーションが疎遠になっています。これからの少子高齢社会に向けて、あらゆる機会を捉えて交流を図っていく必要があります。そのためには、交流を進めていく地域のリーダー的存在が重要であり、人材の発掘、育成が必要です。

課題

交流の機会・場をつくろう

- ◇交流の機会や場をつくる
- ◇団体・施設間で協力・連携する
- ◇世代間交流が必要
- ◇ハードの整備
- ◇小さい頃から地域のことを知る

地域のリーダーを育てよう

- ◇担い手の積極的な掘り起こし
- ◇地域活動情報の発信と提供

交流を深める おつきあいを進めよう

- ◇日頃のつきあいが大切
- ◇あいさつからはじめる
- ◇日常の交流をはかる



課題、目標テーマ

目標 テーマ

高齢社会にあって活力のある 地域づくりを進めるまち

大切にしたい

“地域で高齢者を見守る”を共通の目標とする

高齢化が進み、ひかりが丘も高齢者の多いまちになっています。高齢者のことをよく知り、地震などいざというときに、どこに誰がどのように生活しているかを地域の人がみんなで共有して、助け合い、支えあえる、安心して生活できるまちにしていく必要があります。このことは地域の子どもたちの願いでもあります。

課題

いざという時の 支えあいに備えよう

- ◇「いざという時」のために個人の備えが必要
- ◇安否の確認
- ◇防犯も考える

高齢者を知ろう、 理解しよう

- ◇高齢者の閉じこもりを何とかしたい
- ◇高齢者を理解することが必要
- ◇交流の機会を増やす
- ◇リーダー的な人が必要

目標 テーマ

次世代を担う子どもたちを育むまち

大切にしたい点

様々な子どもたちのコミュニケーションが大切

今の子どもたちは、子ども同士の関わりが薄く、コミュニケーションが不足しており、次世代を担う子どもたちの成長に不安があります。地域の子どもたちが、子ども同士、子どもと大人の間で言葉でのコミュニケーションができるようにしていく必要があります。

課題

子どもたちの コミュニケーションの きっかけづくりをしよう

- ◇子ども同士、子どもと大人があいさつできる地域にしたい
- ◇共通のテーマによる横のつながりをつくるきっかけづくりが必要

子どもたちの願い

地域で高齢者等を見守るまちにしたい